

授業科目名・形態	母子保健活動論	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	日景真由美	開講期	3年前期	単位数 1

【授業の主題】

母子保健分野における保健活動の歴史的な変遷や現在の施策及び動向を踏まえて、対象の健康レベルに応じた健康の保持増進、健康の回復・改善、疾病予防対策の支援方法や技術を学ぶ。

【到達目標】

1. 母子保健活動の歴史的変遷、現在の動向や施策を理解できる。
2. 母子保健活動の現状を把握し、対象者への支援（保健活動）を理解できる。
3. 母子保健における地域の支援体制や社会資源を考えることができる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 母子保健活動の変遷
 第 2 回 母子保健の健康関連指標の動向
 第 3 回 母子保健施策・母子保健計画
 第 4 回 女性のライフステージ各期の健康課題と支援（思春期、妊娠期など）
 第 5 回 女性のライフステージ各期の健康課題と支援（産褥期・育児期、成熟期、更年期）
 第 6 回 乳幼児期の健康課題と支援（乳幼児の発育・発達など）
 第 7 回 乳幼児期の健康課題と支援（乳幼児健康診査、乳児健康診査）
 第 8 回 乳幼児期の健康課題と支援（1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査）
 第 9 回 乳幼児期の健康課題と支援（乳幼児の健康課題、基本的生活習慣など）
 第 10 回 乳幼児期の健康課題と支援（離乳食など）
 第 11 回 乳幼児期の健康課題と支援（事故防止、予防接種など）
 第 12 回 子育てのリスクを持つ家族と支援（未熟児、低出生体重児、心身障害児など）
 第 13 回 子育てのリスクを持つ家族と支援（児童虐待など）
 第 14 回 子育てのリスクを持つ家族と支援（発達障害、DV、ひとり親家庭など）
 第 15 回 母子保健における地域の支援体制、社会資源

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

母性看護学や小児看護学で学んだ内容を復習して講義に臨む。講義後は学修内容を復習する。

【主な関連する科目】

「母性看護学」「小児看護学」、「公衆衛生看護学実習 I・II」などの公衆衛生看護学の科目

【教科書等】

公衆衛生看護学. jp 第4版 データ更新版、インターメディカル、2017.
 国民衛生の動向 2017／2018年版、厚生統計協会、2016.

【参考文献】

標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院、2017.
 最新保健学講座3 公衆衛生看護活動論①、メヂカルフレンド社、2016.
 最新公衆衛生看護学 第2版 各論1、各論2、日本看護協会出版会、2017.

【成績評価方法】

出席状況・受講状況（5%）、提出課題（30%）、定期試験の成績（65%）による総合評価

【学生へのメッセージ】

2年生までの関連科目を復習して授業に臨みましょう。特に、母性看護学・小児看護学で学んだ内容を基礎として、授業を展開していきますので、関連する項目を復習して授業に臨みましょう。